

2023年4月11日（火）
株式会社ボーネルンド

北海道南幌町の新たなにぎわいの場、子ども室内遊戯施設「はれっば」 「アクティブ・パークエリア」を協業開発 2023年5月3日オープン

子どもの健やかな成長に寄与することを目的に、教育玩具・遊具の輸入・開発・販売とあそび場づくりを行う株式会社ボーネルンド（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：中西弘子）は、北海道南幌町と協業し、2023年5月3日にオープンする、南幌町子ども室内遊戯施設「はれっば」内の「アクティブ・パークエリア」を開発しました。



子どものあそびや多世代交流の促進に 社会インフラとしての「あそび場」を、多くの自治体と開発
昨今、子どもが存分に体を動かして遊べる環境が減少し、子どもの体力やコミュニケーション能力の低下が危惧されています。また、子育て中の親の孤立化も課題となっています。こうした問題を解決すべく、当社は自社の室内あそび場「キドキド」の開発・運営で培ったノウハウを生かし、自治体と協働してこれまで全国に約70ヵ所のあそび場を開発してきました。これらの施設は子育て中の親と子に加え、幅広い世代の方々が交流するきっかけとなり、地域のコミュニティのハブとして、街の活性化にも寄与しています。

北海道南幌町：子どもたちの笑顔があふれ、活気のある町づくりを目指して子育て支援を強化

北海道南幌町は、石狩平野のおおよそ中心に位置する、農業が盛んな人口約7,600人の町です。札幌市への通勤圏で、南幌町を縦断し石狩湾新港と新千歳空港を結ぶ道央圏連絡道路の整備が進められるなど（南幌ランプは2025年3月開通予定）利便性の高さからも人気の町です。また、南幌町では、人口減少の抑制および移住定住の促進を目指し、「南幌町子育て世代住宅建築費助成事業」をはじめ、子育て支援策や住宅施策を推進していることから、近年子育て層の人口が増加しています。こうした状況を踏まえ、子育て環境の整備の一環として、子どもたちがいつでも安心してのびのびと遊べる子ども室内遊戯施設「はれっば」がオープンします。

子ども室内遊戯施設「はれっぱ」：遊戯エリアに全身を使って遊べる「アクティブ・パークエリア」

子ども室内遊戯施設「はれっぱ」という愛称は、「晴れた日の原っぱで遊ぶ様子をイメージして考えた」という地元南幌小学校の児童の案が採用されています。北海道産カラマツ集成材を用いた、延べ床面積約1,000㎡の木造平屋建ての施設は、遊戯エリア、交流エリア、体験エリアの3つのエリアで構成されています。遊戯エリア内の「アクティブ・パークエリア」を当社が監修し、「木育エリア」は東京おもちゃ美術館が監修しています。

「アクティブ・パークエリア」は、「アクティブゾーン」と「パークゾーン」の2つから成り、あそびを通して、子どもの好奇心・創造性を育み、運動能力の向上につながる場となるように設計しています。エリアを囲む形でベンチを設置し、遊んでいる子どもを見守りながら、親もくつろぎ、交流できる空間です。ポータルンドは、オープン後も継続的に町や運営会社と連携を取りながら運営をサポートしてまいります。

● アクティブゾーン（4歳以上・4歳未満は保護者同伴）

やわらかいマットや回転遊具などを使い、安心・安全に思いっきり身体を動かして遊べるゾーンです。「跳ぶ・回る・のぼる」など、子どもたちのさまざまな動きを引き出す、ヨーロッパから厳選した遊具を揃え、室内でありながら、全力で走ったり、思いきりジャンプしたり、慎重にバランスを取りながら渡ったり、運動の基礎となる多様な動きが体験できます。また、子どものからだと同じくらいの高さのソフトブロックで、発想力を活かして自由にコースをつくって楽しめる遊具も用意しています。



● パークゾーン（乳幼児から小学校高学年程度）

雨や雪で外遊びができない時期も、屋外の公園にいるかのようにのびのびと遊べるゾーンです。大きなすべり台や、階段のついた木の自然なフォルムを活かした高さ約5mの大型タワー遊具「森のツリーハウス」は、木登りをするように景色や木の感触を楽しみながら遊ぶことができます。また、全身をつかってバランスをとりながら頂上をめざすロープが張り巡らされた球体の遊具や、イメージしたものを他の子どもたちと協力して形にすることで協調性を育み、達成感を味わえる大型ブロックも用意しています。



北海道南幌町 子ども室内遊戯施設「はれっば」 概要

- 施設名：南幌町子ども室内遊戯施設「はれっば」
- 所在地：北海道空知郡南幌町美園3丁目1
- 施設面積：約1,000㎡（遊戯エリア約640㎡／アクティブパークエリア約370㎡）
- 利用可能時間：午前10時から午後6時まで
- 休場日：毎月第3月曜日、年末年始（12月30日から翌年1月3日まで）
- 利用対象者：1歳～中学生 ※未就学児は保護者の方の同伴必須
- 利用料：100円（町内利用者）、300円（町外利用者）
- オープン日：2023年5月3日
- 運営：株式会社オカモト（代表事業者：大和リース株式会社）



自治体と協業した遊び場の開発 事例紹介

北海道恵庭市：えにわファミリーガーデン「りりあ」（2020年11月オープン）



恵庭市では花を中心としたまちづくりを推進し、その一環として、市の花文化に触れあえる大型の都市公園「花の拠点（はなふる）」の整備を進めていました。当社は、このエリア内の旧保健センターの建物を、観光客や地域の人々に開かれた環境へと改修する提案を行い、恵庭市と協働して、屋内外が一体となったあそび場として一新させました。オープン後は、スタッフの研修を定期的に行い、市・運営会社と連携を取りながら運営をサポートしています。天候に左右されず利用できるあそび場は、夢中になって遊ぶ子どもたちで賑わっています。

【ボーンランドについて】

ボーンランドは、あそびを通して子どもの健やかな成長に寄与するため1981年に設立し、一貫して“あそびの道具と環境”を提供する事業を展開しています。一般家庭向け、子どもの成長に必要な生活道具としての“あそび道具”を提案、全国60ヶ所で店舗を展開。同時に幼稚園や保育園、公園などで、高品質な大型遊具や教育道具の提供を含めたあそび環境の開発を行っており、現在までに手掛けた実績は国内約3万5千ヶ所まで拡大しています。また、2004年からは、子どもが遊ぶ機会を増やすために、親子一緒に様々なあそびを体験できる屋内あそび場「キドキド」事業をスタートし、現在では「プレイヴィル」「トット・ガーデン」「リポビタンキッズ PLAYLOT by BorneLund」を含む直営のあそび場 全国22ヶ所、年間約200万人以上の親子にご利用いただいています。さらに「キドキド」のノウハウを取り入れた自治体のあそび場を全国に70ヶ所以上開発し、街の活性化にも寄与しています。

【報道関係の方のお問い合わせ先】

株式会社ボーンランド 広報部
担当：西山、村上
TEL：03-5785-0860、080-9868-7091
e-mail public-relations@bornelund.co.jp

【一般の方のお問い合わせ先（ご掲載用）】

株式会社ボーンランド
TEL:0120-358-518（月～金 10:00～17:00）